



1 県警音楽隊の演奏に合わせて唄を歌う若葉保育園児 2 県警音楽隊のカラーガードのドリル演技 3 木倉小周辺をパレード演奏で回る県警音楽隊 4 防犯プラカードを掲げてパレード行進する木倉小児童

Chapter 3

# 地域力

## 防犯ネットワーク

町内屈指の公民館活動を展開する木倉地区。公民館木倉分館を中心とした防犯ネットワークで、犯罪の芽を地域の目で未然に摘み取ります。地域力こそ、最大の防犯効果です。

木倉小学校校区で12月4日、防犯ネットワーク集会在木倉小学校で開かれ、地域を上げて防犯意識を高めました。防犯ネットワークは、地域犯罪を未然に防ぐことを目的に、平成17年に発足。公民館木倉分館を中心に、区長会、PTA、交通安全協会、消防団、婦人会などで構成される組織です。主に▽連絡体制▽情報収集▽啓発活動▽などに取り組んでいます。同校区では近年、声掛けや不審者の目撃が発生。平成23年度は、3件の事案が寄せられています。そこで防犯力を

強化するため、下校時間に合わせ、老人会が当番制での迎え、散歩時間帯を調整した見守りなど、地域ぐるみで安全な環境を支えています。「昔は近所の子どもの顔と名前は互いに知っていたが、今はほとんど無いですよ」と話す田中恵三分館長。社会や生活の多様な変化で地域の希薄化に心配の声をもらいます。この問題を解消するため木倉分館では、公民館祭りや集会など、地域住民が顔を合わせる場を提供して、結束力を図っています。さらに年4回の公民館だよりを発行して、全世帯に配布。校区内での行事や予定などを載せて、情報発信にも積極的です。人どうしの結びつきや地域力アップに期待を寄せています。「地域活動は、子どもたちと一緒に何ができるか考えて取り組むことが大事。子どもは元気で明るく育ってもらえれば、それが一番。将来は木倉を背負っていく人材ですから」と先を見つめる田中分館長。防犯ネットワーク集会で防犯宣言を読みあげ、校区内を歩いてパレード。地域に防犯協力を呼びかけました。

御船小学校校区で11月23日、「ふれあいウォーク」が開催され、参加した児童や保護者など約400人は、通学路沿いにある子ども110番の家を歩いて探しました。110番の家は、子どもを狙った声掛けや、つきまといが発生した際、緊急避難して保護する場所。同校区では約3年前、商店や飲食店を中心に97軒が登録されています。この企画は登録された家の確認を目的とした初の試み。「110番の家があると聞いているのですが、どこにあるのか誰も知りませんでした」と開催動機を話す本田洋一分館長。防犯対策の改善に地域を上げて乗りだし、御船分館とPTAが協力して110番の家マップを作成しました。参加者はマップを頼りに、13コースに分かれて出発。低学年が約3キロ、高学年が約5キロの距離で、ゴールの御船小学校を目指しました。地域を回り、課題も浮き彫りに。110番の家が本町通り周辺に集中して、校区全域の防犯機能が不安視されたほか、ひと気のない通りが通学路に数カ所存在していたのです。

「110番の家が密集する地域と存在しない地域が両極端。見直して増やすことや、地域で登下校の防犯体制を検討しなければいけません」と本田分館長は指摘します。一方、取り組みでの成果もあります。避難先の確認、地域の学習と交流、親子のふれあいにつながったことです。「親と一緒に、地域のことを子どもに教えた意味は大きい。今後、保護者に110番の家を子どもたちに教えていけるような体制を整えていけたらと思います」と本田分館長は防犯体制を模索します。

1 校区内にある110番の家を元気に探し回る児童 2 110番の家に登録された玄関先には貼られたステッカー 3 途中の休憩所でマップにスタンプを押す児童 4 ゴールの御船小を目指して歩く児童と保護者、先生



Chapter 2

# 団結力

## 子ども110番の家

子どもに危険が迫った時、緊急的に避難する場所「子ども110番の家」。御船小学校校区では現在、97軒が登録中。地域が結束した防犯体制から、学ぶべきことは多いようです。

110番の家は、子どもが気軽に立ち寄れるような場所になればいいと思います。そうすることで、地域とより親しみが生れますから。ふれあいウォークは今回だけで終わりではありません。子どもたちが安心して登下校できるようにしてあげることが、私たち大人と地域の努めだと思っています。だから、子どもを親がいかに育てるか、親の手の届かない部分を地域がどうフォローできるかが大切です。地域がまとまって結束していければ、犯罪を起こさせない地域になります。

子どもを親がどのように育てるか  
家庭の手の届かない部分を地域が  
どうフォローできるかが大切です

10年以上前に、子どもたちと花の苗植えをしました。7月の熱い中、球根を買って、汗だくになって、みんなで植えてくれました。ある日、近所の子が「あの彼岸花、きれいになりましたね。自分たちが植えたんですよ」と言ってくれたことがあります。子どもの頭の片隅には地域の思い出があると、大人になって、子どもができれば、校区の取り組みに参加してくれると思うんですよ。地域で育てた子どもたちが、将来の地域をつくっていくんですよ。

頭の片隅に地域の思い出があると  
大人になって、子どもができれば  
地域の行事に参加してくれますよ

公民館木倉分館  
田中 恵三 分館長（木倉）

公民館御船分館  
本田 洋一 分館長（御船）